

平成 27 年度事業報告書

特定非営利活動法人ひょうたんカフェ

I. 事業実施の概略

特定非営利活動法人ひょうたんカフェは、障害者や高齢者を中心に地域で暮らすさまざまな世代の人々が互いに出会い交流する機会を積極的に作り出し、人と人がつながりあうことの喜びを誰もが感じあえる社会づくりに寄与することを目的として、前年度に引き続き次のような事業を実施した。

本法人の定款第 5 条第 1 項②の障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業として「生活介護事業」「就労継続支援 B 型事業」「ヘルパー事業（居宅介護、同行援護、行動援護、重度訪問介護）」を、同項③の障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業として「ヘルパー事業（名古屋市移動支援）」を、同項⑥のものづくり・文化活動を通じた多世代交流事業として「地域福祉事業」を、それぞれ実施した。

＜法人事業全体として今年度の振り返り＞

- *平成 27 年 4 月に日中活動を生活介護から多機能型（生活介護・就労継続支援 B 型）に移行。これまで生活介護事業の生産活動として行ってきた「さをり事業」「豆腐・カフェ事業」を、それぞれ「クラフト班」「フード班」として就労継続支援 B 型事業で行うことになった（生活介護事業でのさをり事業は「アトリエ活動」として今まで通り継続）
- *各事業の利用者は、4 月に生活介護事業から就労継続支援 B 型事業へ移行した方が 9 名、特別支援学校高等部の新卒で B 型事業を利用開始した方が 3 名、計 12 名で B 型をスタート。生活介護事業も今年度は新規利用者 2 名（特別支援学校新卒者）を迎えた。
- *スタッフの体制としては、就労継続支援事業の開始に伴い常勤スタッフ 2 名を増員（うち 1 名は欠員補充）。また年度の初めに、生活介護、ヘルパーの各事業でそれぞれ 1 名を非常勤から常勤に変更した。新規採用で未経験のスタッフが増えたこともあり、今年度はスタッフの外部研修への派遣や資格取得のための講座受講を積極的に進め、法人内の全体研修も年 3 回実施した。

II. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

- 1) 生活介護事業(定款第 5 条 1 項②障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく障害福祉サービス事業) **デイセンターひょうたんカフェ * 平成24年1月1日事業開始(指定生活介護事業・定員 15 名※平成 27 年 4 月 1 日定員変更)**

＜活動内容＞

利用者の社会参加につながるような「その人らしい豊かな生き方」を実感できる場、また様々な理由により居場所のない方の日中活動の場となることを目的に実施した。名古屋市の生活介護事業者指定を受け、別途定める運営規定にしたがって①ライブプログラム②アトリエプログラム③ワークプログラムなどのサービス提供を行った。

＜今年度の概況＞

多機能型に移行したことにより一階の利用者数が減り、生活介護のスペースが以前よりゆったりと使えるようになった。車イスを使用する方が増えたこともあり、畳敷きの部分を撤去してスペースを確保。活動内容はこれまで通りさをり織りを中心としながら、個別支援計画に沿って個別対応として喫茶や買い物の外出等を実施。障害内容や利用頻度も様々な利用者さんの個別のニーズに出来る限り応えられるよう努力した。アトリエプログラムの成果発表としては、12月に「アールブリュット展」に2名（うち生活介護利用者1名）の方の絵画を出展した。また11月に日帰り旅行（行先：ラグーナ蒲郡）を実施した。

また8月に名古屋市による実地指導を受け、大きな問題なく終了した。

<デイセンターひょうたんカフェ利用実績・実習生受入れ実績>

月	活動日数(日)	延べ利用者数 (人)	実利用者数 (人)	平均利用者数 /日	実習生受入れ 述べ人数(人)
4月	22	218	22	9	0
5月	20	182	22	9	0
6月	24	203	22	8	10
7月	24	222	22	9	6
8月	21	179	20	8	5
9月	21	173	22	8	0
10月	22	207	21	9	0
11月	22	186	22	8	3
12月	21	181	21	8	0
28年/1月	20	172	21	8	0
2月	22	197	19	8	0
3月	24	223	22	9	0

2) 就労継続支援B型事業(定款第5条1項②障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく障害福祉サービス事業)ワークセンターひょうたんカフェ(指定就労継続支援 B 型事業・定員 15 名)※平成 27 年 4 月 1 日事業開始

<活動内容>

就労継続支援 B 型事業者指定を受け、別途定める運営規定にしたがって利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難な者に対して、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練、研修の提供を行った。

<利用者支援について>

1階工房(フード班)で6名、新たに改修した2階アトリエ(クラフト班)で6名の利用者が活動。生活介護から移行した方のほとんどが作業時間も延び、またクラフト班は場所も変わったこともあり、前半の数か月は新しい仕事のリズムに慣れて頂くための支援に力を注いだ。具体的にはタイムカードを導入して仕事の時間の意識づけを行ったり、個別の週間プログラムを紙面にしてお本人にわかりやすく提示するなどの工夫を行った。また、毎日朝礼や夕礼を開き利用者さんが自らの仕事や役割を意識できるように日々の取り組み内容を確認し、「利用者会議」を月1回程度開催した。「利用者学習会」を6月と7月に(「マナー研修」と「A型事業所・GH見学」)、「研修旅行(行先:ユニバーサルスタジオジャパン)」を2月に実施。研修旅行は利用者の中から選んだ実行委員での会議を重ね、行き先の決定やしおりづくりなど主体的に取り組めるよう支援した。

<工賃支給について>

管理者・主任を中心に4月から数か月にわたって「工賃会議」で話し合いを行い、工賃規定及び工賃評価シートを作成。評価シートに従って個々の工賃額を決定し、7月からこの決定に沿って工賃支払を行った。工賃支給の仕組みについては、利用者会議での説明のほか、文書を配布したり個別面談を通じてそれぞれに説明をした。今年度の支払い実績は月額平均17,926円を12名に対して支給。

<製造・販売活動について>

①クラフト班

生活介護の生産活動として行っていた「織り」を収益を得られる「仕事」にしていくために、試行錯誤しながら新しい商品づくりや販路の開拓に取り組んだ。具体的には、今年度から「マジエルカ」(東京で障害者施設の雑貨を扱う店舗)と契約して商品の共同開発を行い、技術力を必要とする組織織りや注文品の織りなどに取り組むことでスキルアップを図った。年度の後半からは新たな取引先と織り製品の下請けの契約を開始。年間売上額は前年度とほぼ同額だったが、新たな販売の仕組みや形を模索しながら取引先を確保した

ことで、来年度以降への布石を敷くことができた。

●作品展・イベントへの出展実績

4月	◎やっちゃんち作品展 (4/1～4/11)
5月	◎ひょうたんカフェB型おひろめウィーク (5/18～22)
6月	◎やっちゃんち1周年 (6/22)
7月	◎大門夏祭り (7/20～21) ◎京都伊勢丹 (マジェルカ)
9月	◎自由学園 (9/20) ◎MOYACO・明治安田生命 (9/18)
10月	◎MOYACO まぼろしのようで (10/1～12) ◎YWCA バザー (10/9) ◎中村区民祭 (10/24) ◎参道ミュージアム (10/24～11/1) 無心に織る展 (10/27～31)
11月	◎円頓寺クラフトマルシェ (11/7) ◎ひょうたんバザール (11/14) ◎あいち障害者フライングディスク大会 (11/15)
12月	◎やっちゃんちクリスマス会 ◎小牧秋葉大祭 (12/13) ◎岐阜信用金庫販売 (12/14～16)
1月	◎マジェルカイベント (1/9～10)
3月	◎MOYACO (3/11) ◎なやばし夜市 (3/25～26)

●委託販売先

榮進堂書店、アーツ千代田、リムセ、やっちゃんち、東京グリーンシステムズ

●卸販売先・マジェルカ、COOPさをり

②フード班

生活介護の生産活動としての前年度までの製造・販売活動を継続しつつ、イベント出店や卸し先が新たに増えたことで売上額は対前年度比約12% (月平均約5万円) の伸びがあった。豆腐製造に関しては原材料の豆乳、製造担当スタッフの技術ともに安定しており、商品の質を一定に保つことができています。フードの売上の約半分を占める「おからドーナツ」については、毎月の新作ドーナツ開発を中心にレシピのブラッシュアップに日々努め、またポスティングやSNSでの発信による宣伝にも力を注ぐことで店舗、イベント販売ともにリピーターを獲得している。また今年度は、店舗でのカフェ運営のほか出張カフェとして外部のイベントでもコーヒー販売を経験した。

●主な定期販売・配達先

東別院手づくり市、興正寺マルシェ、西養護学校、名身連、名古屋YWCA、佐織特別支援学校、ガーデンカフェやっちゃんち、わっぱん、熱田いきいきサロン

●卸し先・市江さん (魚や)、やさいのえん、あいのう天白店

●イベント等出展実績 (不定期)

5月	◎南生協マルシェ (5/2) ◎ひょうたんカフェB型おひろめウィーク (5/18～22) ◎ラ・エール祭 (5/24)
6月	◎やっちゃんち1周年記念 (6/13)
7月	◎大門夏祭り (7/20～21)
9月	◎結の家 (9/11) ◎MOYACO・明治安田生命 (9/18)
10月	◎MOYACO まぼろしのようで (10/1～12) ◎YWCA バザー (10/9) ◎中村区民祭 (10/24)
11月	◎べにしだ祭、多治見ワインフェスタ (11/3) ◎ひょうたんバザール (11/14) ◎あいち障害者フライングディスク大会 (11/15)
12月	◎やっちゃんちクリスマス会 ◎小牧秋葉大祭 (12/13) ◎岐阜信用金庫販売 (12/14～16)
2月	◎わっぱん記念講演会 (2/7)
3月	◎MOYACO (3/11) ◎なやばし夜市 (3/25～26)

<ワークセンターひょうたんカフェ利用実績・実習生受入れ実績>

月	活動日数(日)	延べ利用者数 (人)	実利用者数 (人)	平均利用者数 /日	実習生受入れ 述べ人数(人)
4月	22	246	12	11	0
5月	19	217	12	11	0
6月	23	262	12	11	6
7月	23	250	12	11	0
8月	19	209	12	11	7
9月	20	216	12	10	0
10月	22	247	12	11	0
11月	20	217	12	10	5
12月	20	222	12	11	1
28年/1月	18	206	12	11	1
2月	21	243	12	11	1
3月	22	254	13	11	3

<その他>

8月に名古屋市による実地指導を受け、大きな問題なく終了した。

3)ヘルパー事業

(定款第5条1項②障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく障害福祉サービス事業及び定款第5条1項③障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく地域生活支援事業)

ヘルパーセンターらいぶ☆YOU(居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護事業・移動支援事業)

<活動内容・今年度の概況>

概ね前年の利用実績を引き継ぎつつ、新規利用者数名に対してもサービス提供を開始した。名古屋市移動支援の利用実績・報酬額はここ数年横ばいだが、居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護は利用実績、報酬額ともに伸びている。登録ヘルパーの職位手当を新たに2段階設け、処遇改善を図った。新規の登録ヘルパーは1名増えたのみだが、今年度採用したワークセンター常勤スタッフ2名はヘルパー兼務となっている。登録ヘルパー1名、兼務スタッフ1名(計2名)を「同行援護従業者養成研修」に、また兼務スタッフ1名を「ホームヘルパー現任研修」に派遣、資格取得を積極的に支援した。また、8月に名古屋市による実地指導を受け、大きな問題なく終了した。

<会議・学習会について>

以下の通りヘルパー学習会及びケース検討を実施した。

日時	参加者数	内容
平成27年4月14日(火)	10名	事業所の現況、今年度の方針、ケース検討
平成27年5月12日(火)	8名	ケース検討
平成27年6月9日(火)	10名	ケース検討
平成27年7月14日(火)	9名	ケース検討
平成27年8月11日(火)	5名	ケース検討、緊急時・事故発生時の対応について
平成27年9月8日(火)	7名	ケース検討
平成27年10月13日(火)	10名	ケース検討、べにしだの家との連絡会議報告
平成27年11月10日(火)	10名	ケース検討
平成27年12月8日(火)	9名	ケース検討
平成28年1月12日(火)	6名	ケース検討
平成28年1月23日(土)	6名	障害特性に関する学習会「ダウン症のある方への支援について(デイセンターと合同開催)
平成28年2月9日(火)	7名	ケース検討
平成28年3月8日(火)	7名	ケース検討

<利用実績/内訳>

全体			移動支援		居宅介護・重度訪問介護・ 行動援護・同行援護		私的サービス	
月	人数		人数	時間数	人数	時間数	人数	時間数
4	42	726.25	35	469	7	248.75	1	8.5
5	44	673.75	34	426.5	10	235.75	1	11.5
6	45	795		478	10	306.5	1	10.5
7	46	803.75	35	473	11	321.25	1	9.5
8	40	674.75	31	419.5	9	244.25	1	11
9	45	737.5	34	428	11	301	1	8.5
10	47	805.5	36	468	11	326	1	11.5
11	48	771	37	491	11	269	1	11
12	48	741.5	36	440	12	294	1	7.5
1	43	668	32	395	11	263.5	1	9.5
2	45	782.5	33	444.5	15	327	1	11
3	46	819.5	34	487.5	17	322	1	10

4)研修について(福祉サービス事業共通で実施)

<平成27年度事業所内研修>

開催日	内容	対象者
<第1回> 平成27年4月18日(土)	●ひょうたんカフェの支援方針・目標・アクションプラン報告 (講師:FVP 稲山氏) ●「ひょうたんカフェの命はデザインバランス」(講師:手嶋氏)	デイセンター、ワークセンター スタッフ
<第2回> 平成27年12月19日(土)	●研修報告会 (発表者:片岡、三島、池川、内田、井上、橋本)	デイセンター、ワークセンター スタッフ
<第3回> 平成28年1月16日(土)	●講演会「ダウン症のある人たちのこころとからだ」 (講師:青い鳥医療福祉センター 山中 Dr)	デイセンター、ワークセンター、 ヘルパーセンタースタッフ

<平成27年度事業所外研修への派遣等>

派遣月日	研修名	参加者
平成27年9月7日	●「ダウン症をもつ親どうして今日のこと、明日のことお話ししませんか?」(主催:ロール de ダウン症児・者の保護者の会)	デイセンター管理者1名
平成27年9月	●「平成27年度ホームヘルパー現任研修」(主催:名古屋キリスト教社会館)(全4日間)	デイセンタースタッフ1名
平成27年8月	●「同行援護従事者養成研修」(未来ケアカレッジ)(全3日間)	ヘルパーセンタースタッフ1名
平成27年9月16日	●障害分野別研修(身体)「身体障害者の理解と本人のエンパワメントを考える～当事者の思いに耳を傾ける」(主催:名古屋市社協社会福祉研修センター)	ワークセンタースタッフ1名
平成27年9月30日	●「発達障害の理解と対応について」(主催:親愛の里そよかぜ)	ワークセンタースタッフ1名
平成27年9月30日	●「個別支援計画作成基礎研修」(主催:名古屋市社協社会福祉研修センター)	デイセンタースタッフ1名
平成27年12月5,6日	●「就労支援フォーラム NIPPON2015」(主催:日本財団)	ワークセンター管理者1名、スタッフ 3名
平成27年12月	●「同行援護従業者養成研修」(未来ケアカレッジ)(全3日間)	
平成27年12月11日	●障害分野別研修(精神)	ヘルパーセンタースタッフ1名

平成28年1月20日	「精神障がいに関する特性の理解と支援方法のポイント」 ●「個別支援計画作成フォローアップ研修」 (主催：名古屋市社協社会福祉研修センター)	デイセンタースタッフ1名 デイセンタースタッフ1名
平成28年1月～2月 平成28年2月29日	●「愛知県工賃向上研修」(主催：愛知県)(全3日間) ●「虐待防止・権利擁護研修、成年後見制度利用促進研修」 (主催：愛知県)	ワークセンター管理者1名、スタッフ1名 ヘルパーセンター管理者1名

5) 地域福祉事業(定款第5条(1)の⑥ものづくり・文化活動を通じた多世代交流事業)

障がい者福祉の啓発をはじめ広く福祉のこころを育て、みんなで支えあう地域づくりの一助となることを目的として実施。前年度までと同様に、中村区社会福祉協議会助成事業として「ひょうたんサロン(ヨガ)」を月2回(昼1回、夜1回)開催した。中村区自立支援協議会の部会や行事にはできる限り参加し、地域でのネットワークづくりに努めた。また12月には日本福祉大学のゲスト講師として「NPO活動の実際について」という内容でひょうたんカフェの活動紹介を行い、福祉活動に関する啓発活動をすすめた。今年度から社会福祉士実習受入施設として実習生受け入れを開始、介護福祉士実習生や保育実習生と合わせて、計6名の実習生受け入れを行った「さをりふれあい事業」は、昨年度までは生活介護事業の生産活動の一環として行っていたが、今年度より「地域福祉事業」の枠組みとして行っている。月数回土曜日に一般の方を対象として織りを通じて交流する場を提供するというもので、地域との交流や啓発を目的として法人設立当初から続けている活動のひとつである。また、昨年度に引き続き、椋山大学オープンキャンパスに体験織りブースを出展。スタッフと利用者で大学に出向き、多くの若い方々に活動を知ってもらう機会となっている。

① 福祉イベント活動

<ひょうたんバザール>

- 日時：平成27年11月14日 10時～16時 (ボランティア15名参加)
- 内容：バザールカフェ、クラフト作品販売、豆腐・ドーナツ等販売、フリーマーケット
- 売上金額： 352,980円(総額)

<ひょうたんサロン> *中村区社会福祉協議会ふれあい・いきいきサロン運営助成対象事業

- 内容：ヨガ講師を招いてのヨガサロン
- 開催日時：毎月第3水曜日(昼)10時半～12時(1月開催なし)
毎月第2水曜日(夜)19時～20時半(8、9、11月開催なし)
- 参加者数：第3水曜日(昼)平均12名 第2水曜日(夜)平均4名

② 人材育成活動

<ボランティア受け入れ実績>

月	延人数	内容
4月	13	サロン(ヨガ講師)、さをり
5月	12	サロン(ヨガ講師)、さをり
6月	8	サロン(ヨガ講師)、さをり
7月	9	サロン(ヨガ講師)、さをり
8月	15	サロン(ヨガ講師)、さをり、事務その他
9月	9	サロン(ヨガ講師)、さをり
10月	10	サロン(ヨガ講師)、さをり
11月	31	サロン(ヨガ講師)、さをり、ひょうたんバザール、多治見ワインフェスタ
12月	13	サロン(ヨガ講師)、さをり、縫製
1月	8	さをり、縫製
2月	8	サロン(ヨガ講師)、さをり
3月	10	サロン(ヨガ講師)、さをり
合計数	146	

*上記以外・・・中高生夏休みボランティアの受け入れ(7月～8月)・・・2名×3日間コース(延べ6名)

<福祉実習生受け入れ実績>

- 東海学園大学(保育実習) 2名×8日間(述べ16名(8月17日～31日、8月31日～9月14日))
- 椋山女学園大学(社会福祉士実習) 1名×23日間(述べ23名)(10月19日～11月27日)

③ 地域福祉ネットワーク活動

<講座講師派遣>

- 日本福祉大学ゲスト講師・・・12月7日(月)

<さをりふれあい事業・体験織り実績数> (* 椋山大学オープンキャンパスを除いた数)

月	延べ参加者総数 (人)	内訳 (ふれあい+体験)	月	延べ参加者総数 (人)	内訳 (ふれあい+体験)
4月	4	4+0	10月	6	6+0
5月	3	3+0	11月	7	5+2
6月	6	4+2	12月	10	9+1
7月	5	5+0	1月	9	7+2
8月	3	3+0	2月	5	5+0
9月	8	8+0	3月	3	1+2

- 椋山大オープンキャンパスでの体験織り活動 計4日間実施(7/12)(8/9,10)(9/13)

- 椋山大日本家政学会・ブース展示(9/5)

- さをりオアシスイベント協力参加(6/14)

Ⅲ. 会議の開催に関する事項

<総会>

- ① 開催日時及び場所

平成27年5月23日(土) 13時30分～15:00 ひょうたんカフェにて

- ② 議題 / ・平成26年度事業報告・収支決算報告・監査報告

・平成27年度事業計画及び収支予算書報告

・役員改選について

<理事会>

開催日時	議題・審議事項
第1回理事会 平成27年9月19日(土) 午後6時30分～午後9時	◎平成27年度中間決算報告 ◎平成27年度中間事業報告
第2回理事会 平成28年3月18日(金) 午後6時30分～午後9時	◎平成27年度決算(仮)報告 ◎平成27年度事業報告 ◎平成28年度予算 ◎平成28年度事業計画

Ⅳ. その他

- ① 事務局業務について

事業推進のために必要な法人事務、経理、労務、広報などの業務を行った。今年度は内容が古くなっていたホームページのリニューアルを業者に依頼して行った(12月更新)

- ② 助成金交付

今年度はヘルパー事業所(居宅介護)として初めて「名古屋市福祉人材育成支援事業助成」を活用、職員を外部研修に派遣したり研修費用として書籍購入を行ったことに対して助成を受けた。

支給決定日	助成団体等	助成金額	用途
平成27年6月24日	中村区社会福祉協議会 ふれあい・いきいきサロン運営助成	12,000円	ふれあいサロン運営費
平成27年12月21日	愛知県共同募金会	21,000円	クリスマス会費用
平成28年1月8日	名古屋市福祉人材育成支援事業助成	5,000円	ヘルパー研修参加費
平成28年2月16日	名古屋市福祉人材育成支援事業助成	17,280円	ヘルパー研修参加費
平成28年3月24日	名古屋市福祉人材育成支援事業助成	20,736円	ヘルパー書籍購入費
合計		76,016円	